

2019年3月29日

丸紅株式会社
株式会社みずほ銀行
アセットマネジメント One 株式会社

海外インフラ資産へのエクイティ投資に特化したファンド
『MM キャピタル・インフラストラクチャー・ファンド1号』
のファーストクローズについて

丸紅株式会社（社長 國分文也、以下「丸紅」）、株式会社みずほ銀行（頭取 藤原弘治、以下「みずほ銀行」）とアセットマネジメント One 株式会社（社長 菅野暁、以下「AM-One」）の3社の出資により、ファンド運営会社として設立した MM Capital Partners 株式会社（社長 後藤朝英）が運営・管理する、海外における民間主導型インフラ資産へのエクイティ投資を目的としたファンド『MM キャピタル・インフラストラクチャー・ファンド1号』（以下「本ファンド」）は、ファーストクローズ（第1次資金募集完了）を実施しました。

ファーストクローズには、エムジーリース株式会社（みずほ丸紅リース（仮称）へ変更を前提に協議中）、韓国・投資運用会社である Korea Investment Management Co.,Ltd.、芙蓉総合リース株式会社、株式会社新生銀行が参加しました。また、丸紅、みずほ銀行も参加し、総額約200億円の規模となりました。今後1年間をかけて幅広く投資家を募り、最大500億円の運用規模を目指します。

本ファンドは、交通インフラセクター・エネルギーインフラセクターを投資対象とし、中でもOECD加盟国に所在する、操業開始済み、且つ、安定的なキャッシュフローを創出する資産（ブラウンフィールド）を対象としたものです。これにより、カントリーリスクやプロジェクトリスクの低減を図るとともに、期中イールドを確保し、金融機関や年金等の機関投資家へ長期・安定的な資産運用先を提供することを目標としています。

【本ファンド概要】

名称	MM Capital Infrastructure Fund I, L.P. (ケイマン籍リミテッド・パートナーシップ)
運営・管理会社	MM Capital Partners 株式会社
事業内容	海外インフラ資産（交通分野・エネルギー分野）へのエクイティ投資。 OECD加盟国が対象

【ファンド運営・管理会社概要】

名称	MM Capital Partners 株式会社（本社：東京都中央区）
代表者	代表取締役社長 後藤朝英
出資比率	丸紅 90% みずほ銀行 5% AM-One5%
事業内容	MM Capital Infrastructure Fund I, L.P.の運営・管理

以 上

【ご注意事項】

- 当資料は、丸紅株式会社、株式会社みずほ銀行、アセットマネジメント One 株式会社で作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、丸紅株式会社、株式会社みずほ銀行、アセットマネジメント One 株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

【アセットマネジメント One について】

アセットマネジメント One 株式会社は、DIAM アセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合 4 社」）が統合し、2016 年 10 月 1 日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約 54 兆円とアジアトップクラスの規模を誇ります。

統合 4 社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。 HP : <http://www.am-one.co.jp/>

※運用資産残高は 2018 年 12 月末時点。

商 号 等 / アセットマネジメント One 株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 324 号

加入協会 / 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会